国際性豊かな
青少年の育成を目指し
第2回海外研修セミナー
12月12日　金沢で開催

講演を聞く熱心な参加者たち

㈶全国修学旅行研究協会（山本種一理事長）は、「国際化教育への指針―語学研修・ホームステイ体験…等の在り方を採る」をテーマに、海外研修セミナーを十二月十二日、金沢都ホテルで開催した。石川、富山、福井の三県教育委員会並びに私立学校関係諸団体が後援し、オーストラリア・ニュージーランド両国政府観光局、近畿日本ツーリスト㈱の協賛を得て、三県の公・私立高校、各種専修学校の校長、教頭、教諭等の教職関係者を中心に約七十名の参加者があった。

主催者を代表し、㈶全修協前田寛事務局長は、協会の諸活動を紹介するとともに、今回のセミナーが国際性豊かな青少年の育成を目指して、実り多い研究会でありたいとあいさつした。

来賓の駐日オーストラリア政府観光局二ツ木亮寿氏は、オーストラリアは語学研修・ホームステイに最適な国である。ただし事前調査を十分に行い、まじめに学習することが大切であると述べられた。

講演は次の三氏が担当し、いずれも体験に基づいた内容で、今後の指針として極めて有意義なものであった。

講演1　高校生の国際交流活動について
福井県立武生東高等学校　教頭　小川英雄氏

本校は昭和六十二年四月、普通科と国際科を併設して開校し「世界と対話のできる国際人」の養成を目指している。

本校の国際交流活動のプログラムは、教室で「話せる英語」を学習し、次に学習した英語の「使う場面」を設け、更に上達したら「世界と交流の輪を広げる」となっており、次のような諸活動が挙げられる。

(1) 姉妹校であるアメリカのラムジー高校との交流活動
(2) 東京のアメリカンスクールとの交流活動
(3) 留学生の交換
(4) サマーセミナーの開催
(5) 外国人のための学校公開

以上のような国際交流活動を通しての何よりも大きな収獲は、生徒たちの創造力、主体性、思いやりの心が育ってきたことである。

講演2　アメリカにおける日本人語学研修生受け入れの現状
ウィッシュインターナショナル㈱　日本代表　鈴木実氏

ウィッシュは、サンフランシスコに本部があり、国際交流、友好の輪の推進が目的で、一九八七年の日本支社が開設された。ビデオで現地の実際の様子を紹介する。

ホームステイの受入先としては、サンフランシスコ、ロスアンゼルス、デンバー、ポートランド、シアトル等が治安がよく日本人に対して友好的で、特に日本人に深い理解を示す中流階級以上の家庭が望ましい。

次にホームステイを成功させるための心掛けを示す。

(1) 事前にホームステイ先の生活習慣を知っていく。
(2) 家族の一員であるという自覚をもって生活する。
(3) 他人に頼らず自分で何事もするという強い意志が必要。
(4) 積極的に人々と交流する意欲を持続する。

講演3　語学研修・ホームステイの心構え―体験を通して―
㈶エイ・エフ・エス日本協会　事務局次長　武藤多美氏

AFSは、第一次大戦中に傷病兵看護に当たったアメリカン・フィールドサービスの活動が始まりで、真の相互理解が世界平和を実現するとの確信のもと、現在加盟国は六十八に達し、日本は一九八〇年日本協会を設立した。

当協会は留学生の派遣事業、受入事業とも、長期・短期のプログラムを通じて毎年千人以上の交換留学生を受け付けている。

前の講演と重複するが、語学研修・ホームステイの心構えについて述べる。

(1) 事前に受入国の学習を深めておく。
(2) 何を学び、何を得たいのか、目的意識をしっかり持つ。
(3) 現地の人々と積極的に交流する。自分の意見をはっきり持つ。
(4) 受け入れてくれたホストファミリーに感謝の気持ちを持ち続ける。
(5) 価値観や生活習慣の違いを克服する強い意志と、家族の一員としての責任と自覚が必要。

体験を通して学んだことは貴重な財産で一生の宝であり、友達が外国にできたことは広い世界観を生むことになる。

第五回近畿地区中学校修学旅行研究発表大会　発表要旨

去る十二月三日、奈良市で開催された大会の概要は前号でお知らせしたが、発表の内容は次のとおりである。

創意あふれる班別自主活動を取り入れた修学旅行
―都内散策活動を通して―
和歌山市立伏虎中学校　教諭　東康修

二年前、何度も討議を重ねて取り組みだした修学旅行での班別自主活動―班別での都内自由散策活動―も、今年で三回目となった。

その年入学した生徒が現三年生で、一年の時から二年後の修学旅行を見通して取り組んだ最初の学年集団である。諸行事だけでなく、日常の教育活動の中にも機会を見付けては、班・学級・学年活動の集団活動を積み上げてきた。

つまずきの度に学級討議を重ね、実行委員会も粘り強く取り組んだことが修学旅行をスムースにさせた最大の要因であったと思う。

今後の課題を次に示す。

(1) 班別行動がややショッピングツアー化するなか、目標を的確にした学習活動にさせるための手だて。
(2) リーダーは育ってきたが、一般生徒の意識を高めるための手だて。
(3) 自主活動の質的なレベルアップを図るための手だて。
(4) 年間行事の精選をし、取組みの時間確保の手だて。
(5) 時期・日程・行先等の学校裁量の拡大。

本校の取組みはまだ未熟であり、今後、長期的展望の上に取り組んでいかなければならない問題が多い。今までの取組み同様、生徒・父兄・教師三者による討議の中で克服していくよう取り組んでいきたい。

大会会場で発表する東教諭

東京駅八重洲口、午後二時二〇分、全員の持物は四トン車に積み込まれ、身軽になった生徒たちの不安そうな顔が並んでいる。

思えば、「よし、やろう！」と決意し、ビデオを担いで都内の下見に汗を流したのは夏休みの初めであった。

けれども、都内を自由に選び、自分たちでコースを作り上げることが並々ならぬ計画であることを知るのは、課題を決め、コースを決め始めたころである。班員の意見がなかなかまとまらない。コースが決まらない。こんなことで東京へ行けるのだろうか。

ところが、東京の地理的に複雑で交通量や人の多い高層ビルの立ち並ぶ街が、かえって班をまとめる大きな役割を果たしてくれたようである。教師の点検・確認が入り、地図上で何度もコースを変更し、なんとかやれそうだと自信につながっていったのである。

午後三時四五分、本部の電話のベルが鳴る。四時五分と次から次に入ってくる中間報告の電話に、教師たちのメモの手は震えそうになった。

中間報告最終の電話を五時一五分に聞いて、五時三〇分、早くも旅館に到着した班があった。三時間前に別れたばかりの生徒の顔を見て、我々の顔にホッとした表情が現れる。

時間厳守の六時にそろったのは、36班中の12班である。その後数分の間に、緊張した面持ちで帰ってくる生徒たちで、旅館の玄関はいっぱいになる。六時二〇分には、後三つの班を残すだけとなる。六時四五分、最終班が到着。秋の夕方の暗さと雑踏のため、旅館を見付けることが出来ずに迷い、幾らかの遅れはあったが、心配した事故もなく、無事に帰ることが出来たのは、非常に大きな実績となった。

修学旅行全体をみると、幾つかの反省や課題を残しながらも、三年全員が参加し無事終わることができた。初めての自主活動に、生徒たちが真剣に取り組んだことの表れと思われる。一人一人に自己指導力が確実に育てられたことを確信する。この自信が残り少ない学校生活に生かされることを期待している。

自ら学び、行動する生徒の育成を目指す修学旅行
奈良県大和高田市立高田中学校　教諭　南昌克

本校では初めて、修学旅行として長崎方面に行くことになった。

体験学習・平和学習を中心とし、当日は生徒たち自身で、ほぼ全面的にわたって、修学旅行の運営・司会等を行うことができた。

長崎市内オリエンテーリング、平和学習会（被爆者講演）、追悼式、平戸オリエンテーリング、平戸ディスカッション、平戸中学校交流、地引き網といった体験をするばかりでなく、その運営にも生徒たちが大きくかかわった。

特に、それらの中心となったのは、修学旅行実行委員会（生徒十八名で組織）である。

また、実行委員会は、修学旅行実施までの事前活動も活発に行った。

それは、体育館における事前説明会の運営・しおりの作成・平和を考える登校日（八月九日）の運営・文化祭でのステージ発表『修学旅行について』・服装、携行品についての話合い・平戸中学校（長崎県平戸市）との手紙による交流・学級で行った色々なアンケート等々。

もちろん、実行委員会が教師の出先の機関とならないように、また生徒と教師の板挟みにならないように、実行委員会の活動内容はすべての生徒も同じように知っている。

以上の点について注意と配慮をし、約半年活動を行った。

当日は、平戸でのディスカッションが大いに盛り上がり、旅館に招いた五名のパネリストの方々も時間を延長して生徒の質問に答えていただいた。

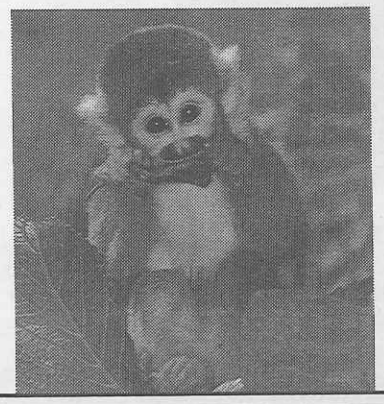
また、生徒たちは特に印象深かったこととして、オリエンテーリングに一緒に参加してくれた平戸中学校の生徒たちとの交流や、長崎での平和学習のことを挙げていた。

振り返ってみると、色々な経験のほかに、友達同士、教師と生徒との相互理解も更に深まったように思える。

実行委員会は、事後の学年集会でこう結んでいた。「この経験を生かして他のことにもがんばろう」「次の校外学習で、更に高い活動をしよう」と。

〈旅行日程〉
❶高田＝新大阪―博多＝有田＝長崎（泊）❷長崎市内＝西海橋＝平戸（泊）❸平戸市内＝福岡＝小倉港～（船中泊）～❹東神戸港＝高田

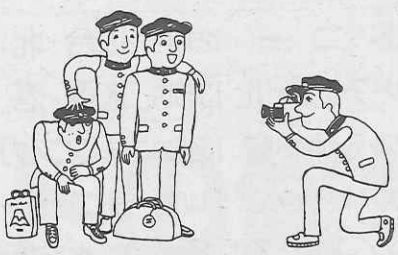
「動物たちのあったかラ・ン・ド」



●営業受付時間
9:00～17:00（3月16日～11月15日）
9:30～16:00（11月16日～3月15日）
●修学旅行料金（消費税含む）
高校生1,100円　中学生　800円
小学生　700円　ガイドラジオ
バス1台につき1,030円
（平成2年10月22日から改定）

別府あじむ草原　博物館相当施設
アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
☎（0978）48-2331(代)
FAX（0978）48-2330

楽しい修学旅行を、
より安心
より快適に



TOKIO MARINE
「学校旅行総合保険」をおすすめします。
東京海上火災保険株式会社
本店　東京都千代田区丸の内1-2-1　☎03-3212-6211(代表)

春の教職員研修旅行
話題多いコースで参加者募集始まる

職員研修旅行の参加者募集が三月四日までの期間で始まった。

NHK大河ドラマ「太平記」に題材を求めたコースや、北海道の雪原にスキーを楽しむコースなど、話題豊富な十一コースが設定されている。

☆「太平記」の舞台を往く
◎鎌倉と尊氏のふるさと足利を訪ねる旅
期日＝三月二十七日～二十九日　二泊三日
会費＝七三、五〇〇円（大阪空港～新大阪）

◎吉野山と千早赤阪から京都を訪ねる旅
期日＝三月二十八日～三十日　二泊三日
会費＝六九、八〇〇円（東京発着）五三、九〇〇円（新大阪～京都）

◎隠岐（島前・島後）に後醍醐天皇の史跡を訪ねる旅
期日＝三月二十六日～二十八日　二泊三日
会費＝九二、五〇〇円（羽田発着）六六、〇〇〇円（大阪空港発着）

☆南信濃路の美術館と下部温泉
期日＝三月二十九日～三十一日　二泊三日
会費＝六六、七〇〇円（新宿駅発着）六五、五〇〇円（名古屋駅発着）四九、八〇〇円（新大阪駅発着＝バス＝）

その他「白い大地北海道（オホーツクの海と白い摩周湖と白鳥）」「陽春の房総半島「スキーin北海道ルスツ高原」「吉野ヶ里遺跡と壱岐・対馬」「国東半島と臼杵」「紬とサンゴ礁の奄美大島と徳之島」「沖縄五島めぐり―西表・由布島と石垣・竹富・宮古」の各コースがある。詳細は(財)全修協（〒101東京都千代田区西神田二―八―七　☎03・3262・2932）へお問い合わせを。

JRグループのダイヤ改正
実施は3月16日に

JR各社のダイヤ改正は、毎年三月に実施されるが、今年は三月十六日に実施されることになった。

今回は東海道・山陽新幹線の利用客増に対する大改正を始め、成田～成田空港間新線開業、六月に予定されている東北・上越新幹線上野～東京間延長開通を見越しての改正などを含め、JR旅客六社（北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州）及びJR貨物の、全国にわたる大改正が行われる。

東海道・山陽新幹線では、年々利用客の増加が特に著しい東京発毎時00分発の博多行「ひかり」を04分発に繰り下げ、東京～新大阪間の「ひかり」を増強するなど、従来のダイヤ全体を4分繰り下げる抜本的改正となり、「こだま」は全編成が十六両化される。

成田空港へは、東京地下駅経由で新宿（一部は池袋）と横浜から直通の特急を多数運転し、海外への利便を図る。なお、この実施のみは三月十九日からとなり、同時に京成電鉄も同じ新空港駅に乗り入れる。

東北・上越新幹線は、六月から大部分の定期列車が東京駅に延長運転されることを見越しての改正で、東北新幹線「やまびこ」現行十二両編成の一部十六両化などが行われる。

このほか、全国の各路線で増発・スピードアップが予定されているが、修学旅行専用列車等の決定はもう少し先のことになる。

「花の万博」から
全修協に感謝状

昨年四月一日から九月三十日までの半年間、大阪・鶴見緑地で開催された「国際花と緑の博覧会（花の万博）」は、二千三百万人を超える入場者があり、成功のうちに閉幕した。

学生団体としての入場者は百十万人を超え、更に自主見学等個人扱いの入場者も多く、教職員研修旅行を始め、多数の学校関係者が訪れた。

これらの成果にかんがみ、財団法人国際花と緑の博覧会協会（斎藤英四郎会長）から、このほど全修協に「感謝状」と「記念品」＝写真＝が贈られた。関係各位の御協力に改めて御礼申しあげる次第である。

☎　東京の電話局番変更　NTT
・平成3年1月1日午前2時から、電話市外局番03地域（東京23区及び狛江市など）の市内局番が、すべて4ケタになりました。
・従来3ケタの市内局番の前に3がつきます。（03）△△△―□□□□は
（03）3△△△―□□□□に
・ただし、既に4ケタの局番「5△△△局」の場合は変更されません。
・ファクシミリも同様です。

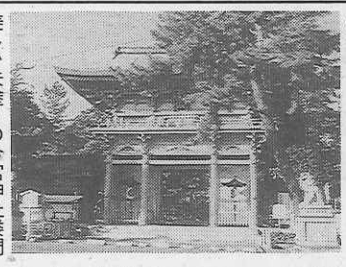
(財)全国修学旅行研究協会が教育研修企画主催する春の教

「古都―その点・線・面」(31)
紫野・大徳寺周辺

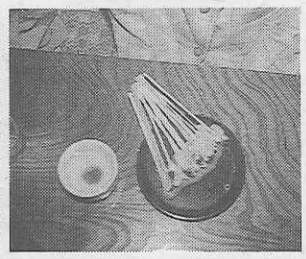
……日暮しにあかで摘むべき若菜かな　紫野行きしめ野行きつつ（前大納言為家）

京都の西北、「七野」の一つ紫野は、延暦十四年（七九五）、桓武天皇の遊猟以来の歴史を持つ。王朝時代は新春に若菜を摘む大宮人を喜ばせ、歌枕にもなった所だ。

紫野は京都の北辺の疫病を祓う位置にあった。そのために御霊会が行われたのが今宮神社（紫野社）の起こりといわれる。今も続く「やすらい祭」は疫神を鎮める鎮花祭である。



美しい朱塗りの今宮神社楼門



名物あぶり餅の味は格別

花の精におおわれた悪疫を、獅子（ししみ）や歌舞によって本殿西の疫社に送って鎮める。行列の花傘の中に入ると、その年の厄を逃れるという。四月第二日曜に行われ、太秦の牛祭、鞍馬の火祭とともに京の三大奇祭に数えられている。

……やすらひや鬼も籠れる紫野　（几董）

今宮神社でもう一つ有名なのが名物あぶり餅だ。上賀茂神社の「やき餅」、下鴨神社の「みたらし餅」などとともに、古来から参詣者に親しまれた。手で小さくちぎった餅を、粗竹の串に刺して炭火であぶり、味噌をつけたものだ。東参道に、今も二軒が向かい合って参詣客を呼ぶ。その古風な素朴さが現代にも受けるのだろうか。憩う若い人も多い。

……注連張（しめ）ってあぶり餅屋の茶釜かな　（きみを）

今宮神社の東南に広大な境内を持つのが大徳寺だ。勅便門、三門、仏殿、法堂、方丈などが一直線に並ぶ。禅宗寺院の典型的な伽藍配置である。そして石畳の道が多くの塔頭に通じている。

以前から五山の上に位した大徳寺は、足利義満による格下げにより、幕府の庇護から離れ、在野の禅寺として座禅本意の学風をつくりあげた。

大徳寺で世間によく知られているのは、一休の逸話、信長の葬儀、千利休の三門事件などであろうか。

一休は勅命で大徳寺の住職になったと伝えられるが、虚実をとりまぜた「一休咄（はなし）」で子供にも親しまれている。

天正十年（一五八二）、大徳寺で行われた信長の葬儀は、山崎合戦に光秀を破った秀吉の、いわば天下人への道程であった。警固の武士三万、行列に加わったものは三千を超え、その盛大さは京師の人々を驚嘆させた。

その秀吉に重く用いられ、茶の湯を完成させた千利休の三門事件は余りにも有名だ。利休の切腹の引金になったといわれる木像は、明治になって三門に戻された。

……何ゆえに利休に死をぼ賜ひけむ　この山門に来ては思（も）ふこと　（吉井勇）

朝鮮出兵をめぐる対立、権力と芸術との相克――野上弥生子は「秀吉と利休」を、井上靖は「本覚坊遺文」を著し、利休四百年忌を前に共に映画化されたのは、耳目に新しい。

千利休は聚光院に眠る。信長は総見院に、石田三成は三玄院に……。塔頭には武将の墓所も多い。真珠庵は一休ゆかりの塔頭である。

国宝の方丈を始め、絵画書蹟などにも国宝・重文が少なくないが、現在大徳寺で公開しているのは、大仙院、高桐院、龍源院、瑞峯院の四塔頭のみだ。それぞれ庭園に特色を持つ。

国宝の玄関がある大仙院は、滝組などに二十余りの石を巧みに配した枯山水で知られる。禅の精神を余す所なく表した石庭だといわれる。方丈前庭には、白砂の表す大海の西南に沙羅双樹が立つ。

高桐院は楓が多く、紅葉の季節には、特に人を引きつける所だ。方丈前の広縁に朱毛氈が敷かれ、それがまた庭に調和する。細川三斎の愛好した石灯籠は利休秘蔵のもので、そのまま墓石にしたものだという。三斎は、ガラシア夫人とともにここに眠る。

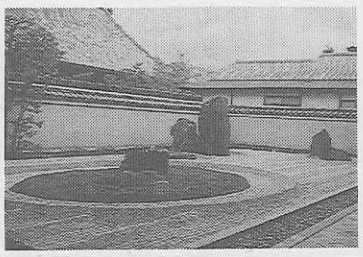
龍源院の庭も見事だ。聚楽第の礎石を使った阿吽の庭、蓬莱山の石組を中心とした方丈南庭＝写真㊦、杉苔のすばらしい北庭、我が国最小の石庭など、説明も親切だ。秀吉・家康対局の蒔絵の碁盤や種ヶ島銃も置かれている。

瑞峯院では、横に三個、縦に四個と十字架に組まれた石組が特色だ。この寺の開基大友宗麟が、臨済宗徒であるとともにキリシタン大名であったことにちなみ、その心を表した昭和の名園である。

塔頭の庭園巡りをして、再び三門を仰ぐ。金毛閣と呼ばれる三門は、歴史の重みを内蔵しながら、冬の斜陽の中に一際輝いて見えた。三門の前の松の緑がいよいよ深みを増しているようだ。

……短日や松より暮るる大徳寺　（露石）

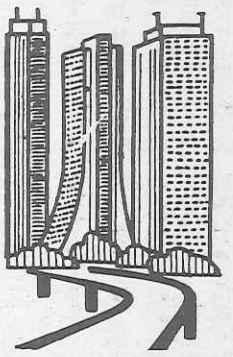
千利休の肖像画は高桐院に



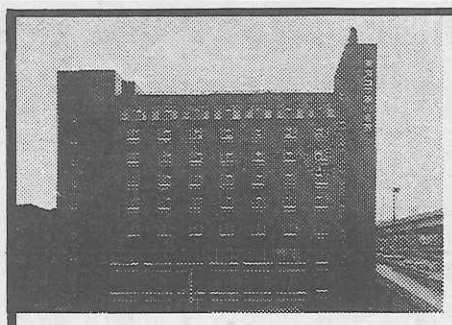
（財）全修協大阪事務局
修学旅行部長　北條直樹

（つづく）

首都東京を見て、何かを！



東京ドームもすぐ近く
お泊りは　都心の
経験豊かな
本郷の旅館へ
本郷旅館協同組合
〒113 東京都文京区本郷4―36―3 TEL 03―3813―9381



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL（03）3585―1046（代表）
東京 コマ旅行会館

旅のプロがつくる旅の本
CITY GUIDE
世界の街案内 シリーズ

1.パリ	1340円	7.シドニー	1240円	15.台北	1200円
2.ロスアンゼルス	1240円	8.ジュネーブ・チューリヒ	1340円	16.香港	1240円
3.サンフランシスコ	1240円	9.ハンブルク・デュッセルドルフ	1340円	17.シンガポール	1240円
4.バンコック	1240円	10.フランクフルト・ミュンヘン	1340円	18.ニューヨーク	1300円
5.ジャカルタ・バリ	1240円	11.ロンドン	1340円	19.北京・上海	1300円
6.ソウル	1240円				

これはもう旅の辞書
好評発売中！

☆街の歴史・習慣が分かる読んでためになる"街のキーワード"付
☆在住商社マンやスチュワーデスが薦める穴場スポットを満載！
☆タウン情報には詳細地図付。街の隅々が見えてきます。
☆なんと！商店の価格からレストランのメニューまで掲載。

★お求めは当社の支店または全国の有名書店でどうぞ
発売　近畿日本ツーリスト出版事業部
〒101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎03(3257)0779/直通 FAX.03(3258)3216
●B6判変型　既刊16冊　定価には消費税を含む